

町 長	副町長	院 長	副院長	事務長	次 長	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	上富病院第 606 号
		決裁期日	平成 31 年 2 月 14 日
名 称	平成 30 年度 第 2 回 上富良野町立病院運営審議会		
日 時	平成 31 年 2 月 12 日 (火) 13 時 30 分から 15 時 30 分		
場 所	役場 2 階審議室		
出席者	町長、北川委員長、鎌田委員、巽委員、北野委員、大道委員、事務長、次長、松田主事		
内 容	<p>町長、北川委員長挨拶の後、次のとおり審議した。</p> <p>1 平成 30 年度病院事業会計決算見込み状況について</p> <p>○別紙資料により説明、概要は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30 年度の決算見込みは、事業収益 838,410 千円 (3,232 千円の減)、事業費用 894,144 千円 (3,101 千円の増) となり当期純損失は、55,734 千円となる見込みである。また、累積欠損額は 940,032 千円となる見込みである。 ・医業収益は 535,877 千円、前年対比で 5,618 千円の減。入院患者の減による。 ・老人保健施設事業収益は 136,633 千円の 1,620 千円の減。介護報酬の減額改正による。 ・医業外収益 165,900 千円の 4,006 千円の増。 ・経費の増加は、給与費は薬剤師及び臨床検査技師各 1 名の増、材料費は、前年度は単価の高い薬を院内で処方する患者様に対する薬剤費が増加したが、本年度においてはそのような患者様がいないため減となった。 <p>○質疑、意見等</p> <p>委員～累積欠損額が多額となっており、その解消策について検討すべきである。病床構成の変更など検討していくべきでは。→多くが減価償却分が累積欠損の要因であるが、公営企業会計として健全経営を図るため委員のご意見も含めて検討していきたい。</p> <p>2 平成 31 年度病院事業会計予算(案)について</p> <p>○別紙資料により説明、概要は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益的収入及び支出 (3 条予算) は、948,474 千円で 3,548 千円の減。主な要因は実績見込みによる材料費の減、減価償却費の減などである。 ・資本的収入及び支出 (4 条予算) は、21,993 千円で 2,592 千円の増。主な要因は、調整交付金事業による医療機器の購入による増、診療報酬改定に伴う、データ加算提出のためのシステム購入費が増加要因である。 		

- ・以上資料を説明し 3 月定例議会に提案することで各委員から了承を得る。

3 町立病院の整備（建替え）に関する方向性について

○資料により、今後の町立病院の整備（建替え）に関する方向性について説明

- ・町長より、昨年 4 月に今後の町立病院等の方向性について、庁内で検討会議を設置し協議を進めるとの指示があり、その協議結果について説明。

4 その他

(1) 職員の採用及び退職について

- ・前回の会議以降の病院職員の採用及び退職予定者について報告

(2) インフルエンザの罹患状況について

- ・昨年末より流行しているインフルエンザの罹患状況について説明